

笑顔で対話

令和5年7月

羽島市教育委員会 教育政策課

子どもに新たな居場所を ～小熊小学校内に適応指導教室「のぞみ」を開室～



これまで羽島市では、学校になかなか通えない児童生徒の社会的自立や学校復帰を目的に、市施設「いきいき元気館」において、適応指導教室「こだま」を運営してきました。

最近の不登校児童生徒の増加やニーズの多様化を受け、子どもにとって新たな居場所とするとともに、学びの選択肢や機会を多くすることで、これまでの支援の強化を図るため、新たに小熊小学校内に適応指導教室「のぞみ」を開室しました。

「のぞみ」では、理科室や体育館等の学校施設を活用したり、学校の日課を踏まえた活動や自分で学習内容や時間割を計画したりする等、主体的で多様な活動を行うことができます。今後も、子どもたちの意見を大切にしながら活動を充実させ、一人一人に応じた支援を行っていきたいと考えています。

とどけ！ わたしの思い ～「わたしの主張2023」羽島市大会～

6月17日（土）に「わたしの主張2023」羽島市大会が、不二羽島文化センター みのぎくホールで開催されました。市内の中学校及び義務教育学校から10名の生徒が参加し、社会に向けての意見や、身近な体験を通して感じた思いなどを発表しました。

今年度は4年ぶりに一般観覧席を設けての開催となり、観覧席の皆さんが真剣に耳を傾ける中、発表者の皆さんは緊張感をもって発表に挑みました。発表後は応援に来ていた先生から感想をもらい、笑顔を見せる姿も見られました。

優秀賞には竹鼻中学校3年生の坂知優さん、桑原学園9年生の馬場悠生さんが選ばれました。岐阜圏域審査会を経て、県大会出場を目指します。



パラスポーツの魅力を実感 ～ボッチャ体験 中島小～



6月22日(木)に市スポーツ推進委員会の方を講師に招き、4年生から6年生の児童がボッチャ体験をしました。

参加をした大橋朋哉さん(6年)は、「初めてのボッチャは、とても楽しかった。ボッチャを多くの人に広めたいし、2月にある羽島市ボッチャ大会に参加したい。」と体験会を通して、ボッチャ競技の魅力や楽しさを実感しました。

ボッチャとは

ヨーロッパで生まれた重度の脳性まひや四肢の障がいがある方のために考案されたスポーツです。1988年にパラリンピックの正式種目になりました。年齢、性別、障がいのあるなしに関わらず、だれもが一緒に競い合えるスポーツです。

親子で学ぼう DAY 2023 ～情報モラル教育 桑原学園～

6月9日(金)、5～9年生を対象にした情報モラル教育を、保護者も一緒に参加して実施しました。情報モラル教育研究所より上水流信秀氏を招き、ネットトラブルに備えて家庭でできることや、家庭での約束づくりなどについて考えました。

児童生徒は「これからも SNS との付き合い方を定期的に見直したい。」と考えるなど、自分の行動を見つめるよい機会になりました。



お知らせ【教育委員会事務局より】

5月に「第3回新しい時代の学校構想検討委員会」を開催し、休日の文化部活動の地域移行等について協議しました。今後は、将来の教育活動のあり方等について協議していくため関係者等にアンケートを依頼する予定です。是非皆様の意見をお聞かせください。

6月に「第3回幼保小連携推進協議会」を開催し、幼保小連携のあり方や、幼保小連携のモデル小学校区の取組みについて協議しました。

会議の際の資料や審議内容は、羽島市のHP(<https://www.city.hashima.lg.jp>)で公開しております。



羽島市教育委員会 〒501-6292 羽島市竹鼻町55番地

TEL (058) 393-4611 FAX (058) 391-0906

Email : kyoiku@city.hashima.lg.jp